



ダムニュース

[法人名] 一般財団法人ダム技術センター
[郵便番号] 〒110-0008
[住所] 東京都台東区池之端2-9-7池之端日殖ビル2F
[電話] 03-5815-4161
[FAX] 03-5815-4162
[ウェブサイト] <https://www.jdec.or.jp/>
[電子メール] damnews@jdec.or.jp

この号の内容

- 1 「第17回東北ダム技術検討会」開催
- 2 Dam news 投稿記事募集
- 3 インフラメンテナンス大賞受賞
- 4 ダム技術研究発表会
審査結果について
- 5 「ダム技術1月」の目次
- 6 図書販売



右岸尾根部からダムサイト全景を視察

「第17回東北ダム技術検討会」開催

～東北地方整備局～



▲右岸尾根部からダムサイト全景を視察



▲仮締切工事にて現場討議



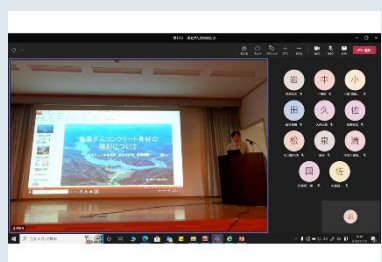
▲金縄主任研究官による講話



▲報告内容に対する質問・意見



▲土研からの技術的な助言



▲検討会のWEB配信も実施

「東北ダム技術検討会」（以下、本検討会）は、ダム事業の円滑かつ効率的な事業執行及び若手職員の技術力向上を図ることを目的に、平成18年度に設立され、本年度で17回目を数えるものです。

本検討会には、国土技術政策総合研究所（以下、国総研）、国立研究開発法人土木研究所（以下、土研）、東北地方整備局、管内ダム関係事務所等の職員が出席し、東北地方整備局が管轄するダムの調査・設計・施工・管理に関する様々な技術的課題等について、議論、意見交換を行っています。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を鑑みて、WEB開催としました。今年は令和4年11月18日（金）に感染防止対策を徹底し、鳥海ダム（秋田県由利本荘市）において、現地検討会と技術検討会（WEB配信も実施）の2部構成で実施し、46名が参加しました。

現地検討会では、本体の施工に向けて実施している仮締切工事や転流工工事などの現場を視察しました。仮締切工事の現場では、仮締切の工法について、土木研究所・国総研と事務所職員との現場討議が行われ、技術的な助言により地質と地盤改良の理解を深める一助になったものと考えます。

技術検討会では、国土技術政策総合研究所 河川研究部大規模河川構造物研究室 金縄 健一 主任研究官より『ダム事業におけるリスクマネジメント』について講話をいただきました。

講話は、近年の気候変動に伴う洪水規模・頻度増大や大規模地震等の外力増大に対する対応など、さらにダムに精通した職員の減少を踏まえ、重要インフラであるダムの安全を確保するために必要なリスクへの対応について、国内外の事故の事例を紹介するとともに、そこに潜むリスクの特徴を講話していただきました。質疑応答では、今後の業務に活かそうと若手職員から多くの質問が出るなど活発な討議が交わされました。

その後、ダム関係事務所より、4つの検討課題について討議を行いました。

成瀬ダム工事事務所からは「確認試験実施にあたっての留意点」と題して、CSG材の製造～施工までの一連の施工設備（実際の施工機械、プラント）を用いて行う確認試験の留意点について、「材料の性状」「リスクマネジメント」「事業監理」の観点で整理し後発ダムへの申し送りとして報告されました。

鳴瀬川総合開発工事事務所からは、「鳴瀬川総合開発事業におけるCIM活用について」と題して、調査・設計段階から活用しているBIM/CIMの活用等のDXに関する先進的な取り組みについて、i-Constructionモデル事務所として紹介しました。

岩木川ダム統管理事務所からは、「建設ダムに伝えたいこと（管理設備、場内構造物）」と題して、管理業務において生じている不具合を紹介し、設計段階、建設段階にフィードバックすべき内容を報告しました。

鳥海ダム工事事務所からは、「コンクリート骨材の検討について」と題して、鳥海ダムがコンクリート骨材として使用を検討している河床砂礫について試験結果をもとに報告しました。

これらの報告について、参加者から質問や意見、事例紹介など活発な議論がされました。また、国総研、土研の参加者からは学術的な知見に基づく技術的な助言をいただくなど、今後のダム事業の担い手となる若手職員の技術向上に繋がるものとなりました。

ダム技術は構造、水理、地質、環境等々多岐にわたるとともに、専門性が強く継続的な人材の育成が不可欠です。東北地方整備局では、東北ダム技術勉強会（以下、勉強会）を毎月実施しています。本検討会に加え、勉強会を実施することで、若手ダム技術者の育成とダムの技術継承に取り組んでいます。今後もこの取り組みを継続し、職員の技術力向上を図っていきたいと考えています。

（東北地方整備局 河川部 河川計画課）

Dam news 投稿記事募集

『ダムニュース』編集事務局では、下記のようなあらゆる情報・話題を広く募集しております。

内容等につきましては特に問いませんので、下記を参照の上、**積極的にご投稿くださいますようお願い申し上げます。**

1. イベントの開催通知・報告（水の週間、サマーカーニバル、花火大会、コンサート等）
2. 小学生等によるダム見学会についての報告（絵・感想文等）
3. ダム所在地等における伝統的な行事の紹介（祭り等）
4. ダム事業に関するPR 活動の紹介（パンフレット、ポスター等）
5. ダム周辺の自然紹介
6. ダム周辺の観光レクリエーション活動の紹介（スポーツ大会等）
7. 研究会・講演会・シンポジウムの開催（通知・報告）
8. 水害・地震等報告
9. ダム資料館・交流館等の紹介

なお、ご不明な点及び執筆にあたっての要領等につきましては、下記担当までご連絡ください。

※ダムニュースの配信先変更や配信停止などのご希望がありましたら、ダムニュース編集事務局までご連絡をお願い致します。

〔法人名〕	一般財団法人ダム技術センター	『ダムニュース』	編集事務局
〔郵便番号〕	〒110-0008		
〔住所〕	東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F		
〔担当者〕	企画部 ダムニュース担当		
〔電話〕	03-5815-4161		
〔FAX〕	03-5815-4162		
〔電子メール〕	damnews@jdec.or.jp		

インフラメンテナンス大賞受賞

当センター川崎 秀明がこの度、第6回インフラメンテナンス大賞にて国土交通大臣賞を受賞しましたので、ここにご報告させていただきます。

インフラメンテ大賞表彰式 政府

国交大臣賞に 大林組ら3者

政府は第6回「インフラメンテナンス大賞」の表彰式を東京・霞が関の国土交通省で13日に開いた。インフラの点検や補修といったメンテナンスに関する産学官の優れた取り組みを表彰。計195件の応募から37件を選出した。インフラを所管する7省(国土交通、総務・文部科学・厚生労働、農林水産、経済産業、防衛)ごとに、斉藤鉄夫国交相は「小



規模な地方自治体は体制や予算に制約があり、予防保全への本格的な転換が不十分な状況もある。点検や修繕などの幅広い場面で、新たな技術を積極的に導入していくことが重要だ。今回受賞された優れた取り組みや新技術の活用を促進し、持続可能なメンテナンスの実現に向け、しっかりと取り組みを進めていく」と話した。

国交大臣賞には松江市上下水道局の「文化財に指定されたダム」の堤体PS(プレストレス)アンカー工法による耐震補強工事、岩手県県土整備部道路環境課の「高校生との協働による道路インフラメンテナンスの取り組み」、大林組の「圧入施工が可能な超高性能モルタルによる補修技術(スリムフローグライウト工法)の開発」を選定した。

右から松江市上下水道局、岩手県県土整備部道路環境課、大林組(それぞれ写真中央が斉藤国交相)

日刊建設工業新聞

2023年01月16日 002面 01版 No. 01

賞状

国土交通大臣賞

メンテナンス実施現場における工夫部門
文化財に指定されたダムの
堤体PSアンカー工法による耐震補強工事
一般財団法人ダム技術センター

川崎 秀明様

第六回インフラメンテナンス 大賞においてあなたの取組 は最も優秀と認められまし たのでここに表彰します

令和五年一月十三日

国土交通大臣
斉藤鉄夫



令和4年度ダム技術研究発表会 審査結果

ダム技術研究発表会は、ダム事業の建設及び管理に携わる都道府県の技術者の技術向上に資するために、ダム技術に関する論文を募集し、最新技術の情報交換および討論の場として、発表会を開催するものです。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から対面(審査員・発表者)とWEB形式(傍聴者)の併用方式にて令和5年1月18日に開催いたしました。

全国からご応募頂いた5編の論文を発表頂き、審査(審査委員長:河野広隆 京都大学名誉教授)の結果、最優秀賞、優秀賞を以下の方々に決定いたしました。

最優秀賞

「安威川ダム減勢工側壁のプレキャストブロック化」

大阪府 安威川ダム建設事務所 建設課 ダム建設グループ 永江 敦 様
八田 純平 様

優秀賞

「鶴川ダム カーテングラウチング計画における課題と対応」

新潟県 柏崎地域振興局 地域整備部 ダム建設課 相田 真也 様

優秀賞

「玉来ダム転流トンネル閉塞工における合理化施工」

大分県 玉来ダム建設事務所 建設課 建設班 山本 真也 様



開催状況 (1)



開催状況 (2)

参加者の皆様大変お疲れ様でした。また対面・WEB併用での開催に際しご協力頂きありがとうございました。

来年度も引き続きダム技術研究発表会をよろしくお願いいたします。

〈事務局〉

一般財団法人ダム技術センター

松井・秋場・藤原

E-mail ; kenkyu-h@jdec.or.jp

JANUARY

2023

ダム技術

No. 436

目次

新年のご挨拶 年頭に当たって

一般財団法人ダム技術センター理事長 泊 宏

巻頭言 ダム事業の推進について

国土交通省水管理・国土保全局長 岡村 次郎

随想 竹田水害緊急治水ダム建設事業
(玉来ダム) 竣工にあたって

大分県竹田市長 土居 昌弘

「布引五本松ダムと小樽港北防波堤」
—佐野藤次郎と廣井勇の気概—

いであ株式会社 営業本部 主席研究員 原 稔 明
(元)独立行政法人 水資源機構 関西支社長

現場報告 大渡ダム管理所における堰堤改良事業の紹介

国土交通省四国地方整備局大渡ダム管理所管理第一係 田村 佳 希

〃 専門官 伊藤 昭 宏

〃 管理第一係長 田村 知 泰

立野ダム建設の施工
— 2023 年洪水調節機能発揮を目指して—

国土交通省九州地方整備局 立野ダム工事事務所 工事課長 岩 元 隆太郎

CFRD 型式の南摩ダムの設計・施工 (その 1)
—堤体・フェイススラブの設計—

独立行政法人水資源機構思川開発建設所調査設計課主査 藤 田 将 司

〃 調査設計課長 大 谷 知 樹

〃 副所長 (技術) 市 川 滋 己

〃 所長 福 田 達 郎

文献紹介

ダムニュース

編集事務局から

第 38 回「ダムフォトコンテスト」応募要領

図 書 販 売

1. ダム技術
 - ・月刊誌 A4 判 12 部/年 年度契約（定期購読申込）
令和4 年4 月号（No. 427）～令和5 年3 月号（No. 438） 1,400円（税込・送料込）
2. 多目的ダムの建設 平成17年版（全7巻）
 - ・平成17 年 6 月発行 A4 判 88,200 円（税込・送料別）
3. RCD工法技術の進歩
 - ・平成17 年 12 月発行 A4 判 4,500 円（税込・送料別）
4. ダムの安全管理
 - ・平成18 年 5 月発行 B5 判 2,000 円（税込・送料別）
5. 地質現象とダム
 - ・平成20 年 6 月発行 A4 判 7,000 円（税込・送料別）
6. 改訂3版 コンクリートダムの細部技術
 - ・平成22 年 8 月発行 A5 判 6,000 円（税込・送料別）
7. 改訂版 巡航RCD工法施工技術資料
 - ・平成24 年 2 月発行 A4 判 2,000 円（税込・送料別）
8. 台形CSG ダム設計・施工・品質管理技術資料
 - ・平成24 年 6 月発行 A4 判 3,000 円（税込・送料別）
9. ダム技術Q&Aー総集編ー改訂版 I
 - ・平成27年3月発行 A4判 3,240円（税込・送料別）
10. ダムの地質調査ーボーリング・調査坑・トレンチー
 - ・平成27年3月発行 A4判 6,000円（税込・送料別）
11. RCD工法施工技術資料
 - ・平成31年3月発行 A4判 5,000円（税込・送料別）
12. 岩盤画像の取得と活用
 - ・令和3年3月発行 A4判 7,000円（税込・送料別）
13. ダム工事積算の解説（令和3年度版）
 - ・令和3年8月発行 A4判 2,900円（税込・送料別）
14. ダム用PSアンカー設計施工マニュアル
 - ・令和3年9月発行 A4判 3,300円（税込・送料別）

書店では販売をしておりません。

お申込みは、ダム技術センターへ、FAXまたはE-mailをご利用下さい。

申込用紙の形式は定めておりませんが、参考形式が必要な方は、当センターホームページにて、出版物の項目よりword及びPDF形式でダウンロードする事が可能となっております。

〔法人名〕 一般財団法人ダム技術センター 図書販売

〔郵便番号〕 〒110-0008

〔住所〕 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F

〔担当者〕 図書販売担当

〔電話〕 03-5815-4161

〔FAX〕 03-5815-4162

〔電子メール〕 books@jdec.or.jp

圖書注文書

E-mail : books@jdec.or.jp、FAX : 03-5815-4162

ダム技術センター 図書購入注文書

申込者	ふりがな	* 公 / 私	* 公 / 私どちらかに○をお付け下さい。	
	氏名	私	○公 → 宛名 (会社名)	○私 → 宛名 (申込者名) となります。
会社名		事務所名・ 部署名等		
所在地	(〒)			
ビル名				
TEL		FAX		
E-mail				

書 籍 名		部数
1		
2		
3		
4		
5		

- ・ご注文書到着後（E-mail か FAX）、請求書、納品書、見積書、郵便振替用紙を送付致します。
- ・入金確認後、商品を発送致します。（月刊誌を除く）

■代金お支払いについて

- ・郵便振替時の手数料は当センターが負担いたします。
 - ・郵便払込用紙をご利用なさらない場合の手料は、お客様のご負担となります。
 - ・郵便払込用紙を使用しないでお支払いされる場合には、お手数ですが、お振込日・お取扱銀行・請求書番号(請求書右上)・金額を必ず書面(FAX もしくは通知状)にてご通知下さい。
- ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

通信欄

お問合せ先：〒110-0008 東京都台東区池之端 2-9-7 池之端日殖ビル 2F

TEL : 03-5815-4161

一般財団法人ダム技術センター 企画部 図書販売係

- ◆ 請求書・見積書・納品書に指定の宛名、日付等がある場合は通信欄にご記入下さい。
- ◆ 当センターで販売しております図書は HP に表示されている商品のみでございます。ご確認ください。

今回お申し込み図書は、何を見てお知りになりましたか？

①ダム技術	②ダム技術センターホームページ	③知人からの紹介
④その他（		）

管理用記入欄 ()